

ターボブレードは3次元CADを使い、水力タービンやポンプなど流体機械の設計、開発を手がけている。省資源化や環境問題に関心が高まっていることもあり、消費電力の抑制につながる高効率なファンやブローナーなどの設計案件が数多く寄せられるようになった。取引先は電子、電気機器のほか自動車関連など、年々広がり続けている。省エネ機器で力を入れている製品の一つが、水路を使った小型水力発電所だ。水車を小型化し、短期間に低コストで施工

短納期・低コストで施工

小型水力発電所も受注



林 社長

ターボブレード

できるようにしたのが特徴。ほかの企業と連携して本格的な受注体制を整えつつある。

一方で海洋研究開発機構が進めている「深海底球ドリリング計画」には、計画の根幹をなすターボドリルの設計で参画している。地球の中心部へと掘り進むこの野心的

▽社長 林正基氏▽所在地 大分市牧1の2の15、097・535・8901▽売上高 7700万円(09年10月期)▽設立 99年2月

九州の革新群像

飛躍狙う中小企業 ⑦

「一歩一歩前進して着実に成長する」。金属加工を専門にする三松の田名部徹朗常務はそう話す。同社の取引分野は半導体製造装置や建材、鉄道車両など幅広い。また経営多角化の一環として、ソフトウェア事業も展開している。

ソフトウェアの商品名は「SMASH(スマッシュ)」。工場内搬送設



安岡 社長

三松

金属加工軸に多角化

データ検証ソフトを拡販

協力し、金属製の家具・雑貨ブランド「金属王」を立ち上げた。テーブルやタターやテーブルなど新たな切り口の金属製品を打ち出している。4月には福岡県大川市の家具展に出展する計画。金属加工をルーツに、派生事業にも果敢に攻め入る。

▽社長 安岡貞勝氏▽所在地 福岡県筑紫野市岡田3の10の9、092・926・4711▽売上高 14億円(09年6月期)▽従業員 93人▽設立 72年3月 (隔週水曜日に掲載)

西日本